

寄稿

ホールの成功、鍵は市民の力

おだわらを拓く力 加藤 憲一

仮称・城下町ホールの建 因します。

設計画は、計画見直しを求 める署名活動だけでなく、 2件の監査請求、阿藤快氏 のコメント事件、そして6 月には訴訟まで起きるなど、 混乱の様相を深めています。 市民誰もが望んだはずの 新ホール誕生プロセスがこ こまで呑んでしまった不幸 は、市民や利用者の願いや 希望に立脚した計画立案が 行われなかった点に全て起



かとうけんいち：1964年小田原生まれ。小田原高校、京都大学法学部卒。経営戦略コンサルティング会社、民間教育団体、農業、オービックビル事務局長などを経て、現在有限会社あしがら総研代表。妻と子ども二人の4人家族。

た、この責任の一端は、市民文化創造の拠点であるホール創りのプロセスを行 政任せにしてしまった私た ち市民にもあるのです。こ れからの時代の市民ホール の成否は、市民がどれだけ その構想や運営に関われる にかかっています。

られた住民不在のホール構 想に対し「そんなホールな ら使わない」と絶縁状を 突きつけた住民らが、たっ た3ヶ月で構想を練り、行 政がそれを受け容れたこと により誕生したホール。住 民有志による企画運営委員 会、地元企業が出資するサ ポーターズクラブ、公演な どをサポートする住民ボラ ンティア組織など、実に様 々な方たちが運営を支えて おり、全国でも随一の「住 民自治による文化ホール」 として知られています。

その素晴らしい事例が、 新潟県魚沼市にある小出郷 文化会館。行政主導で進め

られた住民もたちの心 を耕し、豊かな地域文化を 育ててゆこうとの情熱が、 見事な活動の展開に結実し ています。

小田原でも、市民の夢と エネルギイが満ち溢れるホ ールを目指し、市民主体で 代替案を作るべき時期では ないでしょうか。9月17日、 櫻井館長を小田原にお招き しています。ぜひ多くの皆 さんのご参加を！

おだわらを拓く力
(加藤けんいち後援会)
代表 飯田 和
小田原市栄町2-13-1-2F
TEL0465-21-5260
http://www.katoken.info
加藤憲一日記 更新中!